

脚部筋力の向上を目的とした健康促進器具の設計および制作

このテーマのキーワード	介護福祉、運動促進器具、付加製造技術
関連するSDGs開発目標	 

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

高齢化社会の進展に伴い、健康意識の高まりと生活習慣病の予防として運動促進器具は、これらの予防・改善に有効な手段として注目されている。これらの設計・制作を行った。

(概要)

- ・場所を限定せずに「ながら」運動可能
- ・日常生活に気軽に組みやすい
- ・「起き上がりこぼし」の原理を利用した器具
- ・水を入れるタンクが重りの機能を有する

(期待される効果)

- ・高齢者の筋持久力低下防止に貢献できる。
- ・可搬性に優れている。

本研究は株式会社みどりの丘で開発した運動促進器具「あしたまご」の改良設計をテーマとした共同研究として実施している。

研究製作担当：梁瀬 昂里（2024年度松本研究室）

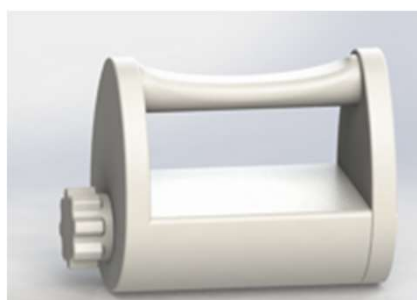


図 設計した運動促進器具



図 付加製造技術を用いて製作した運動促進器具

想定される適用分野・用途・業界

- 福祉機器
- 玩具

産業界へのアピールポイント

- ウェルビーイングを実現するための運動促進器具として展開可能
- 軽量化、サイジングなどの利点
- 価格コストの低減

情報メカトロニクス学科 松本 宏行 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 ものづくり大学
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS